

# 景況レポート

## No.130

2020年1月～3月期



# 北見しんきん

〒090-8711 北見市大通東1丁目2番地1  
電話(代) 0157-66-3111  
URL: <http://www.shinkin.co.jp/kitami/>  
本レポートはホームページでもご覧になれます。

## 景気動向

### 道内景気

日本銀行札幌支店が4月1日に発表した3月の企業短期経済観測調査結果(短観)によりますと、道内企業の景況感を示す業況判断指数(DI:「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値)は全産業で▲7となり、前回の調査『8』から大きく悪化しました。内訳では、製造業(前回4→今回▲12)、非製造業(前回9→今回▲6)ともに悪化しました。2020年6月までの全産業での先行き予測は▲19と、悪化の見通しです。

また、4月1日に発表された道内の金融経済概況は次の通りです。道内の景気は、新型コロナウイルス感染症の拡大などの影響により、下押し圧力の強い状態にある。観光は急速に悪化し、個人消費は弱い動きとなっているほか、輸出・生産にも下押し圧力がみられている。住宅投資は弱めの動きとなっている。設備投資は、中長期的な視点での投資案件を中心として、緩やかに増加している。公共投資は、増加している。雇用・所得情勢をみると、労働需給は引き締まっており、雇用者所得は回復しているものの、足もとでは新型コロナウイルス感染症の拡大の影響がみられている。

- ・ 公共工事請負金額は、地震後の災害復旧工事の発注などから、増加している。
- ・ 新設住宅着工戸数をみると、貸家は減少している。持家は横ばい圏内の動きとなっている。分譲は高めの水準で推移している。
- ・ 個人消費は、スーパー、ドラッグストアでは、足もと、衛生用品に特需がみられるほか、外出の自粛に伴い、日用品の買いだめや、中食需要が高まる中で加工食品などの需要増がみられている。百貨店、乗用車販売、家電販売では、外出を自粛する動きにより、来客数が落ち込んでおり、足もと減少している。
- ・ 観光は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、急速に悪化している。観光客の入込みをみると、国内客、海外客ともに大幅に減少している。
- ・ 消費者物価(除く生鮮食品)は、前年を上回っている。
- ・ 企業倒産は、低水準で推移している。

### 地区内景気

今回の当金庫の景気動向調査による北見地区の景況は、前年同期と比較したDI値は、売上高が▲43と20ポイントの悪化、収益も▲40と13ポイントの悪化でした。直前3ヵ月と比較した今後3ヵ月の見通しでは、売上DI値は▲12、収益DI値は▲12となり、例年通り季節要因から改善の見通しとなっています。

## 特別調査 【外国人・海外情勢と中小企業】

海外からの旅行者（インバウンド）の増加や、外国人労働者の受入れ拡大など、近年、日本と海外とのつながりが強まっています。そこで今回は、外国人労働者や外国向け売上の割合などについて調査しました。

### 【外国人と接触する機会】

「変わらない」が86.9%と最も高くなっています。以下、「増えている」が6.3%、「減っている」が4.0%で続き、「非常に増えている」、「非常に減っている」はそれぞれ1%台にとどまっています。

### 【外国人労働者の割合】

「外国人労働者を雇用している」の回答数は2.9%となり、従業員全体に占める割合は「10%未満」が1.7%と最も高くなっています。対して、「外国人労働者を雇用していない」の回答数97.1%については、「雇用する予定なし」が91.5%と、「雇用する予定あり」の5.6%を大きく上回っています。

### 【外国向け売上の割合】

「外国向けの売上有る」の回答数は12.4%となり、売上全体に占める割合は「10%未満」が9.6%と最も高くなっています。対して、「外国向けの売上はない」は87.6%となっています。

### 【外国向け売上増のための取組み】

「外国向けの取組みを行っている」の回答数は5.6%となり、内訳については、「製品・商品・サービス面の開発強化」が2.2%と最も高くなっています。対して、「外国向けの取組みを行っていない」の回答数は94.4%となり、内訳については、「国内だけで十分な売上有る」が36.3%と最も高くなっています。

### 【特に注目している海外情勢】

経営上、特に注目している海外情勢については、「日中関係」が25.1%と最も高くなっており、以下、「米中貿易摩擦」が19.0%、「アメリカ経済・大統領選挙」が15.6%で続いています。対して、「経営に影響する海外情勢はない」は50.8%となっています。

【海外からの旅行者（インバウンド）の増加や、外国人労働者の受入れ拡大など、近年、日本と海外とのつながりが強まっています。そこで、近年、貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触する機会が増えているという実感はありますか。あてはまるものを1つ選んでお答えください。】

《全国》		
1. 非常に増えている	1.1%	3.2%
2. 増えている	6.3%	17.5%
3. 変わらない	86.9%	76.3%
4. 減っている	4.0%	1.9%
5. 非常に減っている	1.7%	1.1%

【貴社では、外国人労働者を雇用していますか。雇用している方は、従業員全体に占める外国人労働者の割合をお答えください。雇用していない方は、今後、外国人労働者を雇用する予定があるかお答えください。】

《全国》		
外国人労働者を雇用している		
1. 50%以上	0.0%	0.4%
2. 40%~50%	0.0%	0.4%
3. 30%~40%	0.6%	0.5%
4. 20%~30%	0.0%	1.5%
5. 10%~20%	0.6%	2.7%
6. 10%未満	1.7%	7.4%

《全国》		
外国人労働者を雇用していない		
7. 雇用する予定あり	5.6%	3.9%
8. 雇用する予定なし	91.5%	83.2%

【貴社では、売上全体に占める外国人（旅行者を含む）、もしくは外国企業向けの売上（輸出を含む。）はどれくらいですか。あてはまるものを1つ選んでお答えください。】

《全国》		
外国向けの売上有る		
1. 50%以上	0.0%	0.6%
2. 40%~50%	0.0%	0.6%
3. 30%~40%	1.1%	0.7%
4. 20%~30%	0.0%	1.7%
5. 10%~20%	1.7%	3.5%
6. 10%未満	9.6%	14.4%
7. 外国向けの売上はない	87.6%	78.5%

【貴社では、外国向けの売上を増加させるための取組みを行っていますか。行っている企業は、特に行っている取組みについて1つお答えください。行っていない企業は、行っていない理由について1つお答えください。】

《全国》		
外国向けの取組みを行っている		
1. 製品・商品・サービス面の開発強化	2.2%	3.4%
2. 営業力の強化	1.1%	3.2%
3. ネットや広告による情報発信	1.7%	2.5%
4. 海外拠点の設置・強化	0.0%	1.2%
5. その他	0.6%	0.7%

《全国》		
外国向けの取組みを行っていない		
6. 国内だけで十分な売上有る	36.3%	46.8%
7. 何をすればいいかわからない	26.8%	18.2%
8. 人材が不足している	7.3%	6.1%
9. 資金面で余裕がない	5.6%	7.5%
0. その他	18.4%	10.5%

【貴社では、経営上、特に注目している海外情勢はありますか。次の中から3つ以内でお答えください。】

《全国》		
1. 米中貿易摩擦	19.0%	34.0%
2. 中東情勢	10.6%	7.7%
3. 日中関係	25.1%	29.1%
4. 日韓関係	12.9%	11.0%
5. 日露関係	1.1%	0.6%
6. 北朝鮮問題	1.1%	3.0%
7. アメリカ経済・大統領選挙	15.6%	15.2%
8. イギリスのEU離脱	2.8%	3.9%
9. その他	7.8%	8.0%
0. 経営に影響する海外情勢はない	50.8%	40.8%

売上

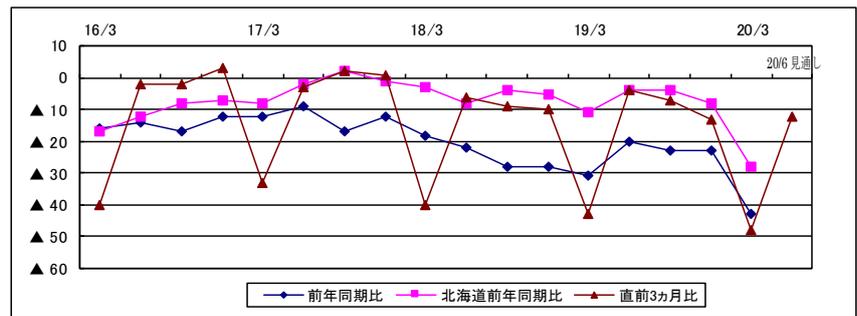
調査対象先企業179社の売上を総体的にみますと、前年同期（19年1～3月）と比較して「増加」した先16%、「変わらず」の先25%、「減少」した先59%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は▲43となり、前回調査より20ポイント悪化しました。

業種別で見ますと、製造業・卸売業・小売業・建設業・サービス業の全てが悪化となっています。

3ヵ月毎の比較では悪化、今後3ヵ月は改善の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。

売上 D I値図表



調査時期	16/3	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3
前年同期比	▲16	▲14	▲17	▲12	▲12	▲9	▲17	▲12	▲18	▲22	▲28	▲28	▲31	▲20	▲23	▲23	▲43
※前年同期比の未期見直しは調査しておりません。																	
調査時期	16/3	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3
北海道前年同期比	▲17	▲12	▲8	▲7	▲8	▲2	2	▲1	▲3	▲8	▲4	▲5	▲11	▲4	▲4	▲8	▲28
※前年同期比の未期見直しは調査しておりません。																	
調査時期	16/3	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3
直前3ヵ月比	▲40	▲2	▲2	3	▲33	▲3	2	1	▲40	▲6	▲9	▲10	▲43	▲4	▲7	▲13	▲12

収益

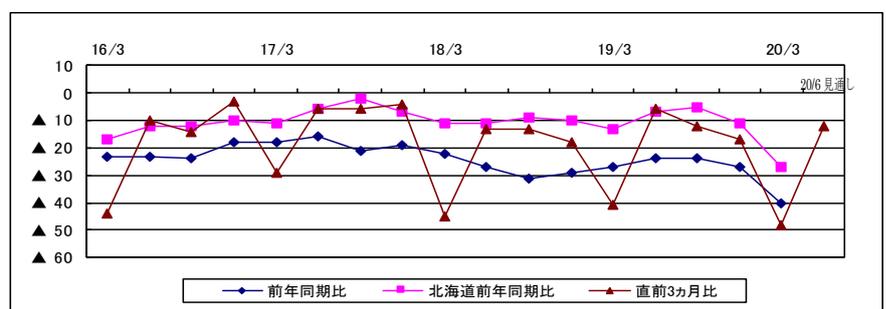
調査対象先企業179社の収益を総体的にみますと、前年同期（19年1～3月）と比較して「増加」した先15%、「変わらず」の先30%、「減少」した先55%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は▲40となり、前回調査より13ポイント悪化しました。

業種別で見ますと、製造業・卸売業・小売業・サービス業は悪化、建設業は横ばいとなっています。

3ヵ月毎の比較では悪化、今後3ヵ月は改善の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。

収益 D I値図表



調査時期	16/3	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3
前年同期比	▲23	▲23	▲24	▲18	▲18	▲16	▲21	▲19	▲22	▲27	▲31	▲29	▲27	▲24	▲24	▲27	▲40
※前年同期比の未期見直しは調査しておりません。																	
調査時期	16/3	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3
北海道前年同期比	▲17	▲12	▲12	▲10	▲11	▲6	▲2	▲7	▲11	▲11	▲9	▲10	▲13	▲7	▲5	▲11	▲27
※前年同期比の未期見直しは調査しておりません。																	
調査時期	16/3	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3
直前3ヵ月比	▲44	▲10	▲14	▲3	▲29	▲6	▲6	▲4	▲45	▲13	▲13	▲18	▲41	▲6	▲12	▲17	▲48

## 概況

調査先製造業全体の業況を前年同期（19年1～3月）と比較してみますと、売上で「増加」した先10%、「変わらず」の先19%、「減少」した先71%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は▲61となり、前回調査より22ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先3%、「変わらず」の先33%、「減少」した先64%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は▲61となり、前回調査より25ポイント悪化しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変わらず	減少	DI値
売上	前回(19/12)	4	11	16	▲39
	今回(20/3)	3	6	22	▲61
収益	前回(19/12)	3	14	14	▲36
	今回(20/3)	1	10	20	▲61

## 動向

### 【前年同期との比較】

売上・収益ともに悪化しました。内訳をみますと、その他は改善しましたが、食料品・木材製品・建設関連は悪化しています。

### 【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに悪化しました。

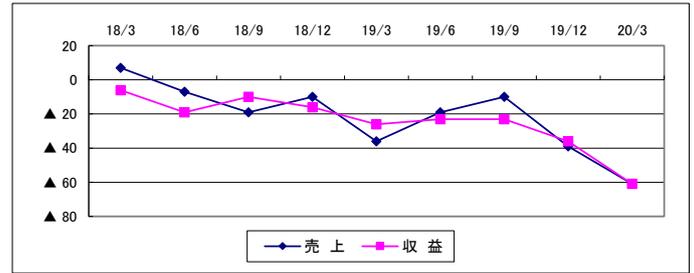
### 【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善する見通しです。

調査員のコメントには、「新型コロナウイルスの影響から、日本全国で北海道物産展の中止が相次いでいるため、売上が減少している」「設備更新を行い、生産性向上と納期短縮を見込んでいたが、人手不足によりフル稼働に至らず減収となっている」といったものがありました。

前年同期比

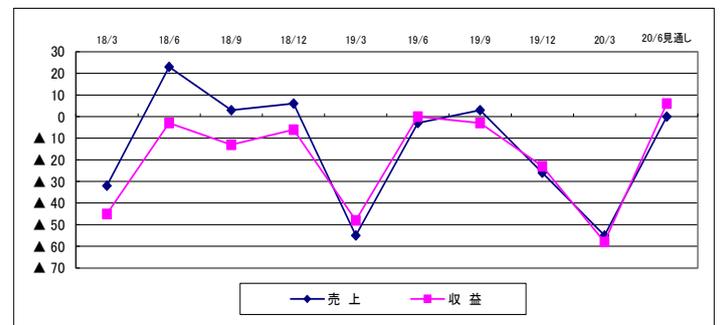
DI値図表



調査時期	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3
売上	7	▲7	▲19	▲10	▲36	▲19	▲10	▲39	▲61
収益	▲6	▲19	▲10	▲16	▲26	▲23	▲23	▲36	▲61

直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6見通し
売上	▲32	23	3	6	▲55	▲3	3	▲26	▲55	0
収益	▲45	▲3	▲13	▲6	▲48	0	▲3	▲23	▲58	6

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	食料品	木材製品	建設関連	その他
売上額	10月～12月と比較	▲55	▲57	▲60	▲43	▲57
	4月～6月の見通し	0	0	40	▲14	▲43
収益	10月～12月と比較	▲58	▲86	▲60	▲57	▲29
	4月～6月の見通し	6	▲14	40	15	▲29
販売価格	10月～12月と比較	▲7	▲14	▲10	0	0
	4月～6月の見通し	0	0	0	14	▲14
原材料価格	10月～12月と比較	29	43	20	29	29
	4月～6月の見通し	26	43	20	43	0
原材料在庫	10月～12月と比較	23	29	40	14	0
	4月～6月の見通し	13	14	20	▲14	29
資金繰	10月～12月と比較	▲16	▲14	▲40	0	0
	4月～6月の見通し	▲3	0	0	▲14	0

## 概況

調査先卸売業全体の業況を前年同期（19年1～3月）と比較してみますと、売上で「増加」した先20%、「変わらず」の先25%、「減少」した先55%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は▲35となり、前回調査より26ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先20%、「変わらず」の先25%、「減少」した先55%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は▲35となり、前回調査より26ポイント悪化しました。

販売価格は「増加」した先20%、「変わらず」の先70%、「減少」した先10%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は10となり、前回調査より13ポイント下降しました。

## 調査回答数（前年同期比）

		増加	変わらず	減少	DI値
売上	前回(19/12)	7	6	9	▲9
	今回(20/3)	4	5	11	▲35
収益	前回(19/12)	7	6	9	▲9
	今回(20/3)	4	5	11	▲35
販売価格	前回(19/12)	7	13	2	23
	今回(20/3)	4	14	2	10

## 動向

## 【前年同期との比較】

売上・収益ともに悪化し、販売価格は下降しました。内訳をみますと、建設関連・その他が大きく悪化しています。

## 【直前3ヵ月との比較】

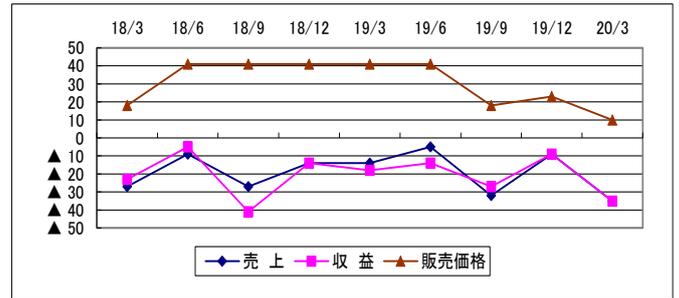
売上・収益ともに悪化し、販売価格は下降しました。

## 【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善し、販売価格は上昇する見通しです。

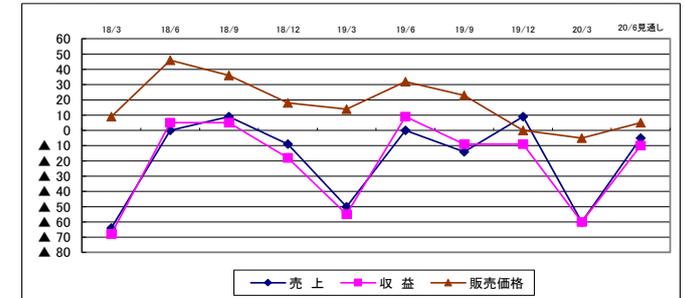
調査員のコメントには、「新型コロナウイルスの影響により、商品展示会の多くが中止となり、今後の売上が立たないのではないかと不安を抱えている」といったものがありました。

前年同期比 DI値図表



調査時期	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3
売上	▲27	▲9	▲27	▲14	▲14	▲5	▲32	▲9	▲35
収益	▲23	▲5	▲41	▲14	▲18	▲14	▲27	▲9	▲35
販売価格	18	41	41	41	41	41	18	23	10

直前3ヵ月比 DI値図表



調査時期	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6見通し
売上	▲64	0	9	▲9	▲50	0	▲14	9	▲60	▲5
収益	▲68	5	5	▲18	▲55	9	▲9	▲9	▲60	▲10
販売価格	9	46	36	18	14	32	23	0	▲5	5

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	食料品	建設関連	その他
売上額	10月～12月と比較	▲60	▲100	▲67	▲25
	4月～6月の見通し	▲5	▲67	17	25
収益	10月～12月と比較	▲60	▲100	▲67	▲25
	4月～6月の見通し	▲10	▲67	0	25
販売価格	10月～12月と比較	▲5	▲50	17	13
	4月～6月の見通し	5	▲33	50	0
仕入価格	10月～12月と比較	10	▲17	33	13
	4月～6月の見通し	10	▲17	33	13
在庫	10月～12月と比較	5	17	▲33	25
	4月～6月の見通し	10	17	0	13
資金繰	10月～12月と比較	▲20	▲33	▲33	0
	4月～6月の見通し	▲10	▲17	▲17	0

## 概況

調査先小売業全体の業況を前年同期（19年1～3月）と比較してみると、売上で「増加」した先15%、「変らず」の先22%、「減少」した先63%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は▲48となり、前回調査より10ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先17%、「変らず」の先16%、「減少」した先67%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は▲50となり、前回調査より17ポイント悪化しました。

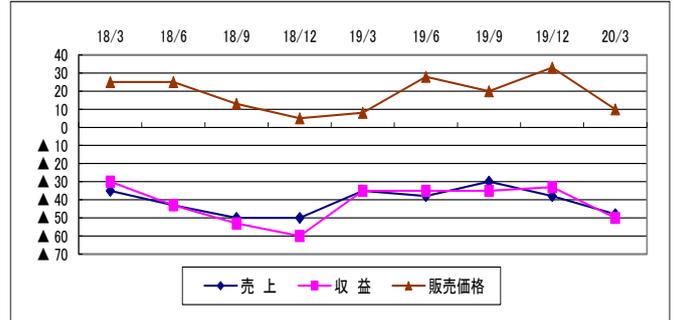
販売価格は「増加」した先22%、「変らず」の先66%、「減少」した先12%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は10となり、前回調査より23ポイント下降しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(19/12)	8	9	23	▲38
	今回(20/3)	6	9	25	▲48
収益	前回(19/12)	8	11	21	▲33
	今回(20/3)	7	6	27	▲50
販売価格	前回(19/12)	17	19	4	33
	今回(20/3)	9	26	5	10

前年同期比

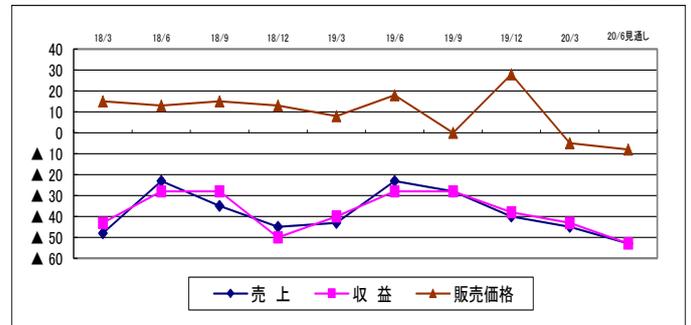
D I 値図表



調査時期	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3
売上	▲35	▲43	▲50	▲50	▲35	▲38	▲30	▲38	▲48
収益	▲30	▲43	▲53	▲60	▲35	▲35	▲35	▲33	▲50
販売価格	25	25	13	5	8	28	20	33	10

直前3ヵ月比

D I 値図表



調査時期	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6見通し
売上	▲48	▲23	▲35	▲45	▲43	▲23	▲28	▲40	▲45	▲53
収益	▲43	▲28	▲28	▲50	▲40	▲28	▲28	▲38	▲43	▲53
販売価格	15	13	15	13	8	18	0	28	▲5	▲8

## 動向

### 【前年同期との比較】

売上・収益ともに悪化し、販売価格は下降しました。内訳をみますと、特に食料品が悪化しています。

### 【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに悪化し、販売価格は下降しました。

### 【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化し、販売価格は下降する見通しです。

調査員のコメントには、「新型コロナウイルスの影響により来店客数が激減していることに加え、中国の生産工場が操業を停止しており商品の入荷に影響が出ている」「例年、冬期間は除雪機の販売が売上の大半を占めるが、今年は降雪量が少なかったため振るわなかった」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	衣料品	食料品	その他
売上額	10月～12月と比較	▲45	▲50	▲69	▲29
	4月～6月の見通し	▲53	▲50	▲54	▲52
収益	10月～12月と比較	▲43	▲67	▲69	▲19
	4月～6月の見通し	▲53	▲67	▲54	▲48
販売価格	10月～12月と比較	▲5	▲17	8	▲10
	4月～6月の見通し	▲8	▲17	15	▲19
仕入価格	10月～12月と比較	8	17	31	▲10
	4月～6月の見通し	8	17	39	▲14
在庫	10月～12月と比較	▲3	0	▲23	10
	4月～6月の見通し	▲13	0	▲31	▲5
資金繰	10月～12月と比較	▲25	▲17	▲23	▲29
	4月～6月の見通し	▲23	▲17	▲23	▲24

## 概況

調査先建設業全体の業況を前年同期（19年1～3月）と比較してみますと、売上で「増加」した先14%、「変わらず」の先29%、「減少」した先57%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲43となり、前回調査より29ポイント悪化しました。

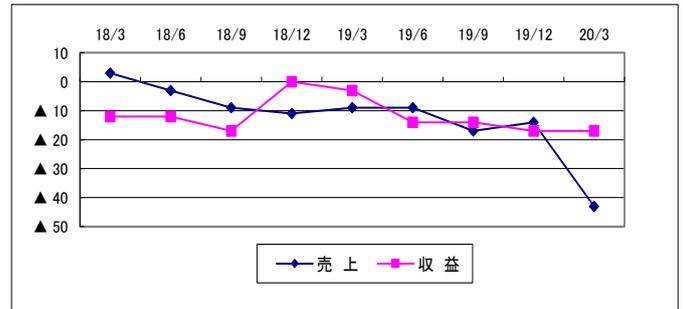
収益は「増加」した先20%、「変わらず」の先43%、「減少」した先37%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲17となり、前回調査と同じでした。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変わらず	減少	D I 値
売上	前回(19/12)	12	6	17	▲14
	今回(20/3)	5	10	20	▲43
収益	前回(19/12)	9	11	15	▲17
	今回(20/3)	7	15	13	▲17

前年同期比

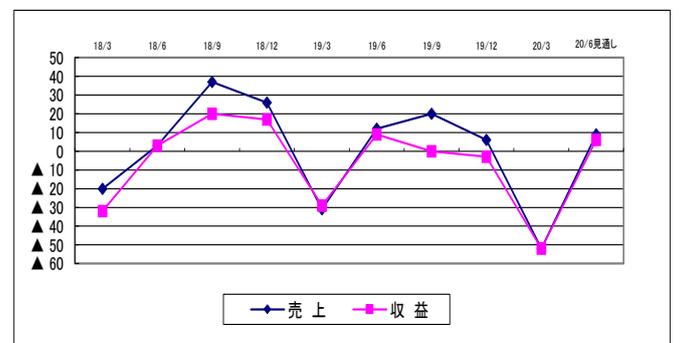
D I 値図表



調査時期	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3
売上	3	▲3	▲9	▲11	▲9	▲9	▲17	▲14	▲43
収益	▲12	▲12	▲17	0	▲3	▲14	▲14	▲17	▲17

直前3ヵ月比

D I 値図表



調査時期	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6見通し
売上	▲20	3	37	26	▲31	12	20	6	▲52	9
収益	▲32	3	20	17	▲29	9	0	▲3	▲52	6

## 動向

### 【前年同期との比較】

売上は悪化、収益は横ばいでした。

内訳のD I 値の推移は以下のようになっています。

- ・ 土木売上：前回 8→今回▲42
- ・ 同 収益：前回▲25→今回▲33
- ・ 建築売上：前回▲6→今回▲31
- ・ 同 収益：前回▲6→今回▲6

### 【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに悪化しました。

### 【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善の見通しです。

調査員のコメントには、「新型コロナウイルスの影響により、中国製の建築資材が調達できず、業務に支障をきたしている」「受注は旺盛だが、人手不足により断らざるを得ない」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(D I 値による) (%)

項目		全体	土木	建築	その他
売上額	10月～12月と比較	▲52	▲42	▲63	▲43
	4月～6月の見通し	9	17	6	0
施工高	10月～12月と比較	▲52	▲42	▲69	▲29
	4月～6月の見通し	14	0	13	43
収益	10月～12月と比較	▲52	▲58	▲63	▲14
	4月～6月の見通し	6	8	▲13	43
請負価格	10月～12月と比較	▲6	▲8	▲6	0
	4月～6月の見通し	6	▲8	19	0
材料価格	10月～12月と比較	29	25	44	0
	4月～6月の見通し	26	17	44	0
在庫	10月～12月と比較	6	8	6	0
	4月～6月の見通し	▲6	▲17	0	0
資金繰	10月～12月と比較	▲14	0	▲13	▲43
	4月～6月の見通し	▲14	8	▲25	▲29

## 概況

調査先サービス業全体の業況を前年同期(19年1~3月)と比較してみますと、売上で「増加」した先21%、「変わらず」の先28%、「減少」した先51%で、そのD I値(増加割合-減少割合)は▲30となり、前回調査より17ポイント悪化しました。

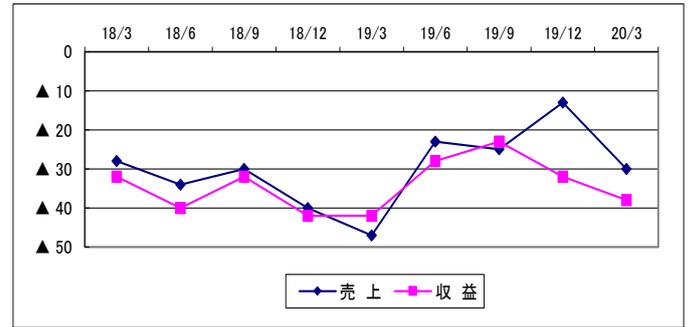
収益は「増加」した先15%、「変わらず」の先32%、「減少」した先53%で、そのD I値(増加割合-減少割合)は▲38となり、前回調査より6ポイント悪化しました。

### 調査回答数(前年同期比)

		増加	変わらず	減少	D I 値
売上	前回(19/12)	13	20	20	▲13
	今回(20/3)	11	15	27	▲30
収益	前回(19/12)	8	20	25	▲32
	今回(20/3)	8	17	28	▲38

前年同期比

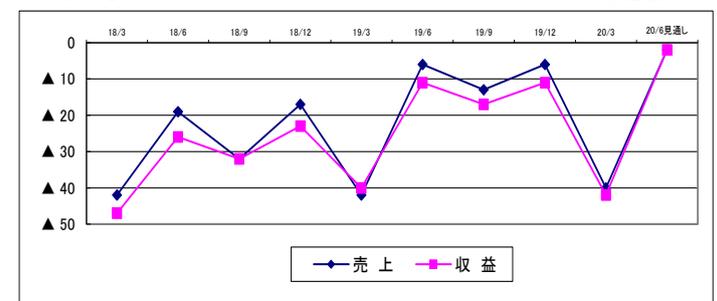
DI値図表



調査時期	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3
売上	▲28	▲34	▲30	▲40	▲47	▲23	▲25	▲13	▲30
収益	▲32	▲40	▲32	▲42	▲42	▲28	▲23	▲32	▲38

直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6見通し
売上	▲42	▲19	▲32	▲17	▲42	▲6	▲13	▲6	▲40	▲2
収益	▲47	▲26	▲32	▲23	▲40	▲11	▲17	▲11	▲42	▲2

## 動向

### 【前年同期との比較】

売上・収益ともに悪化しました。内訳をみますと、特に理容美容が悪化しています。

### 【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに悪化しました。

### 【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善する見通しです。

調査員のコメントには、「例年通り、2月以降に宿泊客が増加する予定だったが、新型コロナウイルスの影響から予約のキャンセルが相次ぎ、今後の見通しが立たない」「人手が不足している上に、働き方改革により残業の抑制や休日の取得に配慮する必要があるため、業務の効率化が急務となっている」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	理容美容	車両関係	その他
売上額	10月~12月と比較	▲40	▲11	▲50	▲43
	4月~6月の見通し	▲2	▲22	0	3
収益	10月~12月と比較	▲42	▲33	▲43	▲43
	4月~6月の見通し	▲2	▲22	0	3
料金価格	10月~12月と比較	9	33	▲7	10
	4月~6月の見通し	11	11	14	10
材料価格	10月~12月と比較	30	11	14	43
	4月~6月の見通し	23	0	22	30
資金繰	10月~12月と比較	▲38	▲22	▲50	▲37
	4月~6月の見通し	▲25	▲22	▲14	▲30

経営上の問題点 【複数回答】

	1位	2位	3位
製造業	売上の停滞・減少 51.6%	人手不足 32.3%	原材料高 32.3%
卸売業	売上の停滞・減少 65.0%	同業者間の競争の激化 35.0%	利幅の縮小 25.0%
小売業	売上の停滞・減少 62.5%	商圏人口の減少 47.5%	同業者間の競争の激化 17.5%
建設業	人手不足 54.3%	売上の停滞・減少 48.6%	材料価格の上昇 34.3%
サービス業	売上の停滞・減少 49.1%	商圏人口の減少 24.5%	人手不足 18.9%

経営施策 【複数回答】

	1位	2位	3位
製造業	経費を節減する 54.8%	人材を確保する 48.4%	販路を広げる 38.7%
卸売業	販路を広げる 50.0%	経費を節減する 45.0%	情報力を強化する 45.0%
小売業	経費を節減する 55.0%	品揃えを改善する 37.5%	売れ筋商品を取扱う 30.0%
建設業	人材を確保する 54.3%	経費を節減する 51.4%	販路を広げる 40.0%
サービス業	経費を節減する 45.3%	販路を広げる 28.3%	人材を確保する 28.3%

【調査要領】

1. 調査地域 北見地方1市4町（北見市、置戸町、訓子府町、美幌町、津別町）
2. 調査時点 2020年 3月  
2020年 1月～ 3月期の実績および見込み  
2020年 4月～ 6月期の見通し
3. 調査対象企業 当金庫お取引先181社（任意抽出）  
回答企業数 179社  
回答率 98.9%
4. 調査方法 調査表による訪問聞き取り調査  
調査表は信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」と同一のものを使用
5. 業種別回答企業数

製造業	卸売業	小売業	建設業	サービス業	合計
31	20	40	35	53	179

6. 分析方法 各質問項目を100分比に換算し、パーセント（%）数値による分析を行いました。また、好転か悪化の傾向をみる方法として、「増加割合－減少割合＝判断指数（DI値）」で分析を行いました。

## 「新型コロナウイルス肺炎対応 金融相談窓口」の設置について

さまざまな業種のお客さまに、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大しております。  
当金庫では、下記のサテライト店を除く本支店窓口に「新型コロナウイルス肺炎対応 金融相談窓口」を設置しております。各種経営相談や、円滑な資金供給を通じて地域をサポートいたします。

### サテライト店（相談窓口を設置していません）

温根湯支店、相内支店、ことぶき支店、南大通支店【北見市】  
南支店、しらかば支店【帯広市】  
南が丘支店【紋別市】

本店営業部では土・日・祝日もご相談を承っております。

## 管内主要経済指標

北海道財務局北見出張所調べ

	単位	2019年10月		2019年11月		2019年12月		備 考	
		実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比		
消費	主要小売店売上高	百万円	6,608	▲ 2.1	6,631	▲ 2.0	8,543	▲ 2.1	管内主要小売店 (社)日本自動車販売協会 連合会北見支部
	新車登録台数	台	651	▲ 14.8	749	▲ 13.4	595	▲ 20.1	
		うち乗用車	台	543	▲ 15.0	605	▲ 10.8	466	
建設	新設住宅着工数	戸	66	▲ 17.5	83	76.6	86	45.8	国土交通省
	公共事業 (前払金保証請負金額)	百万円	2,800	▲ 23.2	1,332	▲ 30.3	658	▲ 45.5	北海道建設業信用保証(株)
観光	知床宿泊者数	人	40,080	1.6	20,077	▲ 0.9	15,807	4.3	斜 里 町
	主要観光施設入り込み数	人	77,680	22.1	32,412	8.9	20,715	▲ 12.8	各 関 係 先
	女満別空港利用客数	人	71,887	▲ 3.2	61,762	2.8	52,755	1.9	女満別空港管理事務所
金融	預 金	億円	12,812	1.6	12,926	2.0	13,033	1.5	北海道財務局北見出張所
	貸 出 金	億円	5,011	0.6	5,022	1.1	5,054	0.9	
	貸出約定平均金利	%	1.277	▲ 0.047	1.276	▲ 0.045	1.269	▲ 0.049	
雇用	月間有効求人倍率	倍	1.39	0.05	1.41	0.05	1.37	0.06	北 見 ・ 網 走 ・ 紋 別 公 共 職 業 安 定 所
	新規求人数	人	1,747	0.7	1,515	▲ 0.5	1,258	▲ 3.1	

(注1) 前年比は、貸出約定平均金利、月間有効求人倍率がポイント、その他は増減率(%)

(注2) 金融はゆうちょ銀行を除く

(注3) 雇用はパートタイマーを含む